

ICT を利活用した質の高い教育を実現するための全学的な計画

令和5年9月27日

金沢学院大学
金沢学院短期大学

1. 基本的な考え方

ICT (Information and Communication Technology:情報通信技術) の利活用により、学習者本位の学修者本位の学修の実現、効果的で質の高い推進を目指す。すべての学生教職員が安全安心に利用でき、教育活動において効果的で効率的な活用ができる ICT 環境の整備を図ることを目標とする。

2. ICT 環境の整備に関する取組

ICT を利活用した質の高い教育を推進するため、以下の環境整備を実施する。

(1) ネットワーク環境の整備

全学の建物（1号館、2号館、2号館B棟、3号館、4号館、5号館、6号館）にて安定したWiFi通信ネットワークの環境整備

(2) コンピュータ実習室の整備

学生が利用可能なPCを2号館パソコン室に整備し、自習等の使用に開放する。

(3) BYOD の推進

授業時や課題作成、レポート作成等のICT利用の促進を図るため、学生個人用ノートパソコンの携帯を推奨する

(4) 学修支援システムの整備

学修支援システム (Campusmate) 活用と効果的発展及びクラウド化の推進

(5) 双方向型授業の推進

クリッカーなどの双方向授業に必要な機器の充実とその活用

3. 技術支援・教育支援体制の整備

教育活動において、学生及び教職員が効果的に ICT を活用できるための技術支援・教育支援を実施する。

(1) 教職員への支援

①学修支援システムの活用支援

②ICT利活用に係る技術支援

(2) 学生への支援

①学修支援システムの利活用支援

②学内 ICT 機器の利活用支援

4. セキュリティへの対応

以下の規程及び方針に基づき、セキュリティへの対応を実施する。

- (1) 情報セキュリティポリシー
- (2) 情報セキュリティ管理運用規程
- (3) プライバシーポリシー

5. DX による学修者本位の学修の実現

DX による学修者本位の学修実現に向けた取り組みを実施するとともに、指標を設定してその達成を目指す。

<取組内容>

- (1) 学修支援システム (Moodle) の学修ポートフォリオを用いた教育課程の授業における学生の習熟度等のデータの把握と可視化、学生指導の実施
- (2) 習熟度等のデータに基づき、本学の教育課程編成等における改善の検討

<指標設定>

- (1) アウトプットに関する指標

習熟度データを基に、学生の学修状況に応じた学習計画のアドバイス、学生指導の実施

【目標値】 全学生に対して每学期 1 回以上の実施

- (2) アウトカムに関する指標

学生の満足度の向上

【目標値】 卒業時満足度調査「本学に入学してよかったか」の回答について、肯定的意見（とても思う・まあまあ思う）を 90%以上にする。

6. DX による効果的で質の高い学修の実現

DX による効果的で質の高い学修の実現に向けた取り組みを実施するとともに、指標を設定してその達成を目指す。

<取組内容>

- (1) 全学部の正規課程の授業科目において、対面授業と Moodle を使用したオンライン学習の併用を実施し、授業外学修時間の増加やアクティブ・ラーニングの向上を図る
- (2) 対面授業とオンライン学習の併用を実施した科目における効果について検証するとともに学内への展開に向けた検討体制を構築する

<指標設定>

- (1) アウトプットに関する指標

オンライン学習コンテンツへのアクセスログをもとにした授業時間外の課題取組状況

【目標値】履修者の100%

(2) アウトカムに関する指標

対象科目における学生の到達度の向上

【目標値】授業アンケート調査「授業の到達目標に対するあなたの到達度はどのくらいでしたか。」の回答について、肯定的意見（到達できた・まずまず到達できた）を90%以上にする。